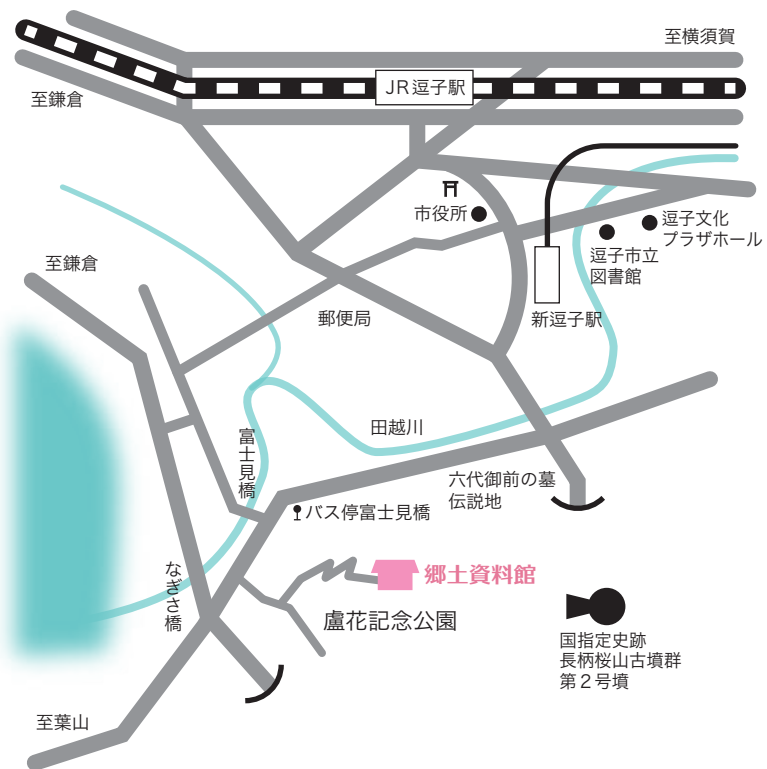


桜山の緑を背景に、眼前に逗子湾が広がるこの地は、自然に恵まれ静かな佇まいを留めています。

郷土資料館の建物は、大正元年に横浜の実業家の別邸として建築されたと伝えられ、大正6年からは、徳川宗家第16代当主家達の別邸として使われた由緒があります。

木造平屋建、寄棟造の棧瓦葺きで、8畳間を一直線に連ねる間取りは、海側の眺めを重視したためと言われています。

確かにどの部屋からも逗子湾を眺めることができ、天候しだいでは、江ノ島の向こうに富士山を遠望することもできます。



開館時間 午前9時から午後4時まで

休館日 月曜日(休日あたる場合は、その翌日)
年末年始(12月28日から1月3日まで)

入館料 大人¥100 小人¥50

※JR逗子駅より、海岸廻り葉山行バスに乗り「富士見橋」で下車、歩いて8分
※ご来館にあたっては、公共の交通機関をご利用ください。
※館内は禁煙です。

逗子市郷土資料館

〒249-0005 逗子市桜山8丁目2275番
電話(046)873-1741

逗子市郷土資料館



昭和59年4月、市制施行30周年を記念し、逗子の名を広く世の中に伝えたい近代の文豪、徳富蘆花ゆかりの地に「蘆花記念公園」を設けました。

郷土資料館は、この公園の一角にあり、逗子ゆかりの文学作品に関する展示のほか、実際に市内で使われていた調度品などの民俗資料、市内の遺跡から出土した資料などを展示しています。

逗子市



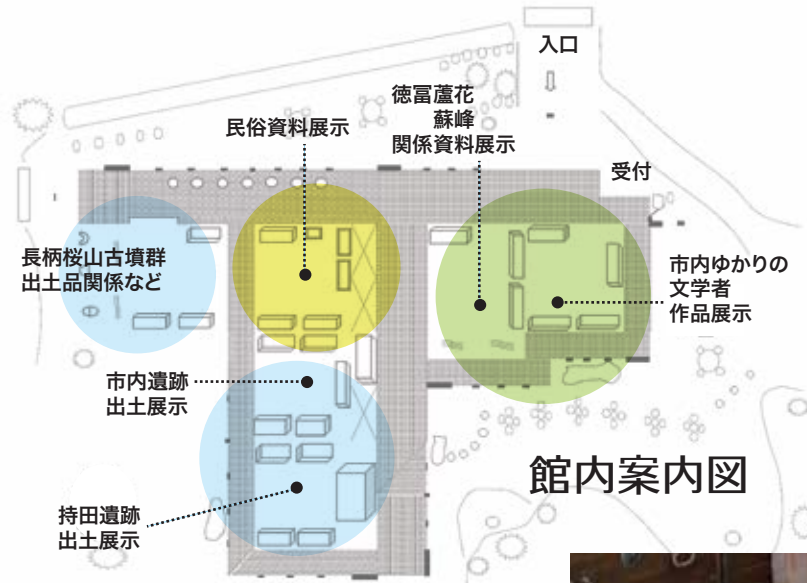
逗子八景のひとつ「桜山の晴嵐」の地に建つ郷土資料館から逗子湾を望む



文学関係資料



民俗資料



館内案内図



民俗資料エリア

近代から現代にかけて、市内で日常生活に使われた調度品などを中心に展示しています。

市内の遺跡出土品エリア

市内には140箇所あまりの埋蔵文化財包蔵地(遺跡)が知られています。開発に先立つ緊急調査などによって、様々な時代の出土品(遺物)が発見され、太古の逗子の歴史が、少しずつ分かってきました。桜山5丁目の持田遺跡出土品など、市内の遺跡から出土した遺物を展示しています。



市内の指定文化財

2015年(平成27年)4月1日現在

■国指定文化財(4件)

| 件名 | 種別 | 指定年月日 | 所有者・管理者 | 所在地 |
|---------------|-----|-------------|---------|---------------|
| 五輪塔(石造/乾元二年銘) | 建造物 | 昭和28年8月29日 | 宗)東昌寺 | 池子2丁目8-33 |
| 名越切通 | 史跡 | 昭和41年4月11日 | 市・民有地 | 小坪7丁目・久木9丁目地内 |
| 和賀江嶋 | 史跡 | 昭和43年10月14日 | 官有地 | 小坪5丁目 |
| 長柄桜山古墳群 | 史跡 | 平成14年12月19日 | 逗子市 | 桜山7丁目・8丁目地内 |

■県指定文化財(8件)

| 件名 | 種別 | 指定年月日 | 所有者・管理者 | 所在地 |
|-------------------------------------|-------|-------------|---------|--------------|
| けんぼんちやくしやく だいいとくみょうおうぞう 絹本着色 大威徳明王像 | 絵画 | 昭和29年3月30日 | 宗)神武寺 | 沼間2丁目1402 |
| けんぼんちやくしやく 絹本着色 千手観音像 | 絵画 | 昭和29年3月30日 | 宗)神武寺 | 沼間2丁目1402 |
| 銅鐘(応永十年銘) | 工芸 | 昭和44年12月2日 | 宗)海宝院 | 沼間2丁目12-15 |
| 木造 阿弥陀如来立像 | 彫刻 | 昭和56年7月17日 | 宗)光照寺 | 沼間2丁目20-17 |
| 薬師堂 | 建造物 | 昭和60年11月29日 | 宗)神武寺 | 沼間2丁目1402 |
| 五霊神社の大イチョウとその周辺の樹木 | 天然記念物 | 昭和42年7月21日 | 五霊神社 | 沼間3丁目10-34 |
| あぶずりのふせいごう 鍔摺の不整合を示す露頭 | 天然記念物 | 昭和52年5月20日 | 逗子市 | 桜山9丁目2405-21 |
| 逗子市池子遺跡群出土品 | 考古資料 | 平成14年2月12日 | 逗子市 | 池子(池子遺跡群資料館) |



市内の遺跡からの出土品

■市指定文化財(19件)

| 件名 | 種別 | 指定年月日 | 所有者・管理者 | 所在地 |
|--|-------|-------------|------------|-------------|
| 木造 薬師如来坐像 及 日光月光両菩薩立像 | 彫刻 | 昭和45年5月1日 | 宗)神武寺 | 沼間2丁目1402 |
| 木造 不動明王立像 | 彫刻 | 昭和45年5月1日 | 宗)神武寺 | 沼間2丁目1402 |
| 木造 阿弥陀如来坐像 | 彫刻 | 昭和46年12月23日 | 宗)東昌寺 | 池子2丁目8-33 |
| 観音堂 | 建造物 | 昭和46年12月23日 | 宗)岩殿寺 | 久木5丁目7-11 |
| 木造 阿弥陀如来立像 | 彫刻 | 昭和47年7月28日 | 宗)仏乗院 | 小坪4丁目26-3 |
| 木造 阿弥陀三尊立像 | 彫刻 | 昭和47年7月28日 | 宗)海前寺 | 小坪5丁目10-17 |
| 銅造 阿弥陀三尊像 | 彫刻 | 昭和48年1月26日 | 宗)延命寺 | 逗子3丁目1-17 |
| 四脚門 | 建造物 | 昭和48年1月26日 | 宗)海宝院 | 沼間2丁目12-15 |
| 木造 十王及び奪衣婆坐像 | 彫刻 | 昭和48年1月26日 | 宗)宗泰寺 | 桜山7丁目7-1 |
| 木造 十一面観音菩薩坐像 | 彫刻 | 昭和49年12月18日 | 宗)海宝院 | 沼間2丁目12-15 |
| 緑釉唐草文瓶ほか一括 | 工芸 | 昭和49年12月18日 | 宗)神武寺 | 沼間2丁目1402 |
| きくぢゅうこまつりゅうすいもんそうじやくきょう 菊座鈕小松流水文双雀鏡 きくぢゅうこまつりゅうすいもんそうじやくきょう 菊座鈕小松散水文双雀鏡 ほかに鏡二面 | 工芸 | 昭和49年12月18日 | 郷土資料館(個人蔵) | 桜山8丁目2275 |
| こんびら山やぐら群 | 史跡 | 昭和45年5月1日 | 宗)神武寺 | 沼間2丁目1402 |
| みろくやぐら | 史跡 | 昭和45年5月1日 | 宗)神武寺 | 沼間2丁目1402 |
| 先祖やぐら横穴 | 史跡 | 昭和46年12月23日 | 個人 | 沼間2丁目23-24 |
| 六代御前の墓伝説地 | 史跡 | 昭和53年2月21日 | 六代御前史跡保存会 | 桜山8丁目2013 |
| 山の根谷装飾横穴 | 史跡 | 昭和47年8月18日 | 個人 | 山の根2丁目1-6 |
| あぶずりのふせいごう 「鍔摺の不整合」の露頭 | 天然記念物 | 昭和47年7月28日 | 逗子市 | 桜山9丁目2448-4 |
| 神武寺周辺の岩隙植物群落 | 天然記念物 | 平成5年5月12日 | 宗)神武寺 | 沼間2丁目1402 |

| 昭和 | 大正 | 明治 | 江戸 | 室町 | 鎌倉 | 平安 | 奈良 | 古墳 | 弥生 | 縄文 | 先土器 | 時代 | | | | | | | |
|---------------|----------|---------|--------------|--------------|--------|--------|-------|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1954 | 1943 | 1923 | 1889 | 1868 | 1867 | 1638 | 1590 | 1471 | 1333 | 1180 | 937 | 749 | 700 | 300 | 300 | 1万 | 2万 | 年代 | |
| 市制施行(全国384番目) | 横須賀市から独立 | 横須賀市へ合併 | 町村制実施、田越村と称す | 町村制実施、田越村と称す | 横須賀線開通 | 逗子町と改称 | 関東大震災 | 三浦郡、徳川氏直轄地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる | 三浦郡、松平大和守朝矩の領地になる |

逗子市のあゆみ

主なできごと